

Pacificchem2021での研究発表



目で見ると
海外論文発表

西 耕 平*

Presentation at Pacificchem 2021 online

Key Words : organometallic chemistry, organic synthesis

<参加会議名>

The 2021 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies

<開催場所> online

<渡航期間> 渡航していません。

<発表タイトル>

Chromium-catalyzed Cyclopropanation of Alkenes with Bromoform using an Organosilicon-Based Reductant

本会議は化学の研究分野を対象とした最重要な国際会議であり、環太平洋の国々から、化学分野を代表する研究者・学生が集い、口頭発表およびポスター発表を行うことにより、最先端の研究情報を交換することができます。本学会は今回で8回目の開催を迎え、約35年の歴史を有する国際会議です。今回私は、クロム錯体を触媒とした、アルケンのシクロプロパン化反応について口頭発表を行いました。口頭発表する学生は少なく、教員がほとんどでしたが、何度も練習をしたので自信をもって発表できました。発表後は著名な教授お二方から質問を頂き、また、個別チャットでアドバイスとお褒めの言葉を頂きました。また、本会議はオンラインで開催された学会ということもあり、質問しやすい環境であり、

国内外の多くの研究者と有意義な意見の交換を行いました。しかし、質疑応答の際に発音が拙く伝わらないことがありました。今後は英語力の向上を課題の1つとしてますます精進し、積極的に国際学会参加も含めた国際交流を行っていきたいと思います。さらに今回、2019年のノーベル化学賞を受賞した吉野彰氏の講演を聴講し、リチウムイオンバッテリーを筆頭にした資源の再利用の課題に化学がどのように貢献できるのか、など興味深いお話を聞くことが出来ました。また、前夜祭イベントである Kids Zone も聴講させていただき、化学の持つ魅力や化学を専攻すると将来何ができるのか、など化学者とは何か？に迫るよう質疑応答が繰り広げられ、自分自身を見つめなおす良い機会になりました。

最後に、このように貴重な機会のご支援を賜りました生産技術振興協会に深く御礼を申し上げます。



口頭発表の様子 1・2



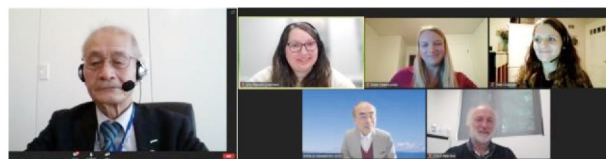
* Kohei NISHI

1995年11月生まれ
大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻卒業 (2020年)
現在、大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻博士後期課程2年修士(工学) 専門/有機金属化学、有機合成化学

TEL : 06-6850-6248

FAX : 06-6850-6249

E-mail : nishi@organomet.chem.es.osaka-u.ac.jp



吉野氏の講演の様子

前夜祭イベント